

学しゅうようぐのきまり

1ねんせい

- ◆ 学校は、べんきょうをするところです。
- ◆ じゅぎょうでこまらないように、学しゅうようぐをきちんとそろえましょう。
- ◆ 学しゅうにひつようなものだけをもってきましょう。
- ◆ ふでばこのなかは、したにかいてあるものいがいい、いれないようにしましょう。
- ◆ もちものには、かならずなまえをかきましょう。

ふでばこのなか

★ そろったら、○をつけましょう。

	けずったえんぴつ (<u>2Bいじょう</u>) <u>4ほん</u> けずったかきかたえんぴつ (4 B) <u>1ほん</u>	こいじは、パッとうきでてみえ あたまのなかに、 はいやすいんだよ。
	けずったあかえんぴつ <u>1ほん</u>	こいえんぴつは、しんがやわらかく、 たくさんじをかいてもつかれにくいよ
	よくきえるしろいけしゴム <u>1こ</u> (においのついていないもの)	らくにきえると、 またすぐにじがかけね

☆授業に集中しやすくするためには、できるだけシンプルな学習用具を選ぶことが重要です。

子どもたちは、キラキラしたり、ゆらゆらしたり、においがついていたりと変わったものを持ちたがりますが、

学習のさまたげになるものを取り除いてやることで、
しっかり話が聞けるようになります。

☆ふでばこは、中のものがそろっているか、一目でわかる箱形のものがのぞましいです。
 (缶のペンケースやチャック式のはあまりおすすめできません)

☆箱形筆箱・・・中のものがそろっているか、一目でわかります。



◆おどろぐばこ

☆ひとつのようなものが、わかりやすく、
とりだしやすいようにせいりしましょう。
それいがいのものは、せんせいにいわれたときだけ、いれるようにしましょう。



1年生（はさみ・のり・クレパス・色えんぴつ）